

## 1986年度 第8回 郷土史講座

1987.02.28

岩の鼻遺跡第2次調査

網谷克彦

1. 所在地 名田庄村三重岩の鼻
2. 調査の契機 中小規模河川南川改修工事に伴う緊急事前調査
3. 調査面積 9,800 m<sup>2</sup> うち、2次調査分約4,000 m<sup>2</sup>
4. 調査期間 第1次調査 1985年6月18日～11月16日  
第2次調査 1986年6月10日～12月21日
5. 調査主体 福井県教育委員会
6. 昨年度第1次調査の成果

## [遺構]

竪穴住居跡 2基  
(早期神宮寺式期 1基, 前期北白川下層Ⅱ式期 1基)

## [遺物]

縄文土器: 早期神宮寺式, 前期北白川下層Ⅰ式～大歳山式

石器: 石鏃, 石錐, 磨石他.

早期押型文土器の中でも古式に属する神宮寺式期(9,000年前頃)の住居跡とほぼ単一に近～時期の土器が住居内埋土より出てきた意義は大い。

## 7. 第2次調査の成果

## [遺構]

早期神宮寺式期 円形竪穴住居跡 5基 (径4m: 4基, 径7m: 1基)  
(約9,000年前) 焼石集石 2基・住居跡に近接, 調理用(?)

前期北白川下層Ⅱ式期  
(約5,000年前) 円形竪穴住居跡 1基

中期末～後期初 北白川Ⅰ式～中津式  
(約4,000年前) 石田炉 3基  
焼土 1基  
埋設土器 2基 (幼小児用の墓?)  
隅丸方形・長楕円形土坑 13基 (成人用墓?)  
その他に土坑・ピット多数 (330基以上)

## [遺物]

## 縄文土器

早期押型文土器 (神宮寺式, 大川式, 黄島式, 高山寺式)

前期 (羽鳥下層Ⅱ式, 北白川Ⅰ式, 北白川下層Ⅱa-c, 北白川下層Ⅲ式, 大歳山式) <sup>1基</sup>

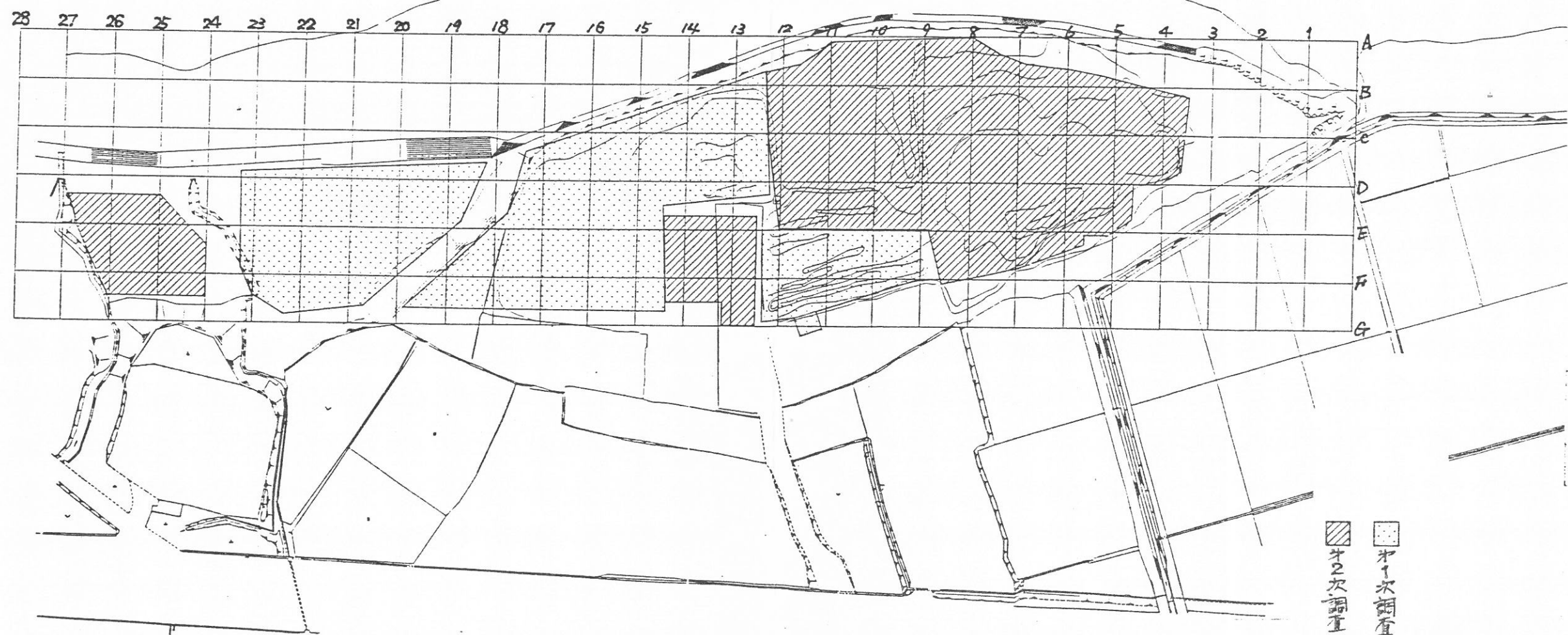
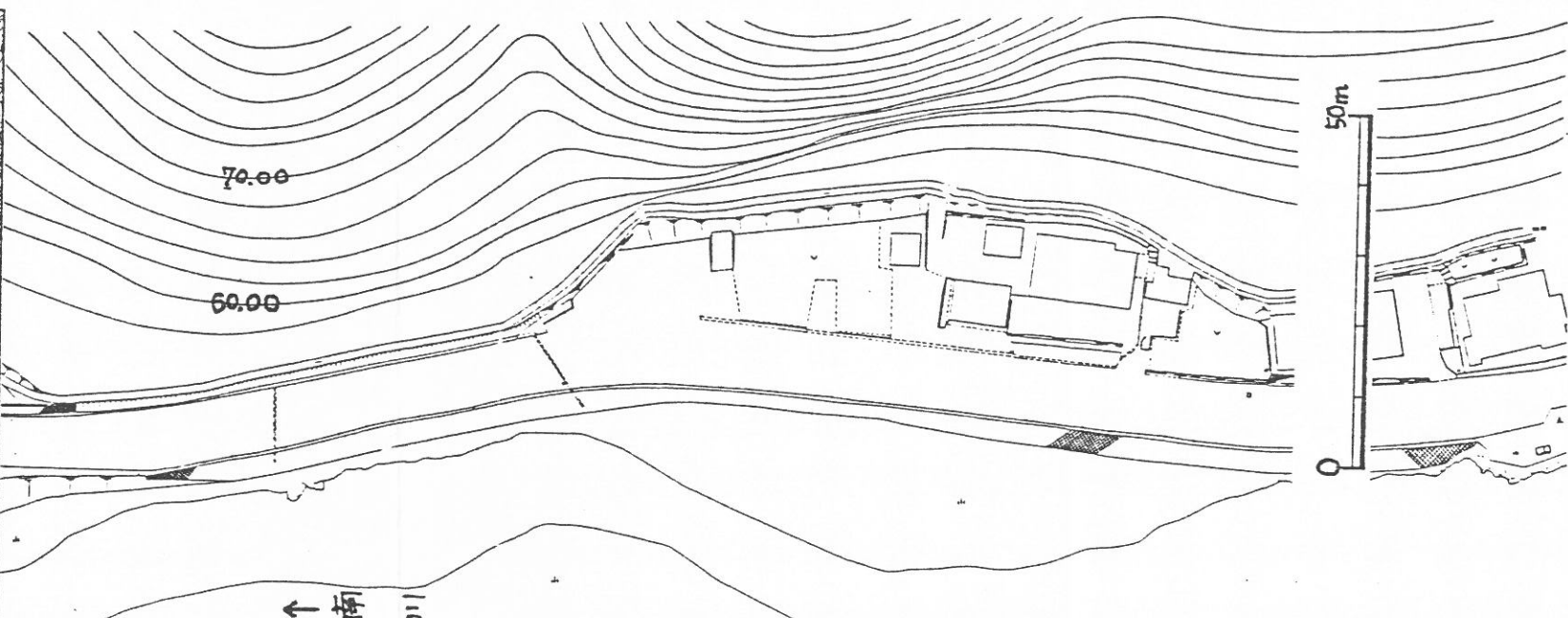
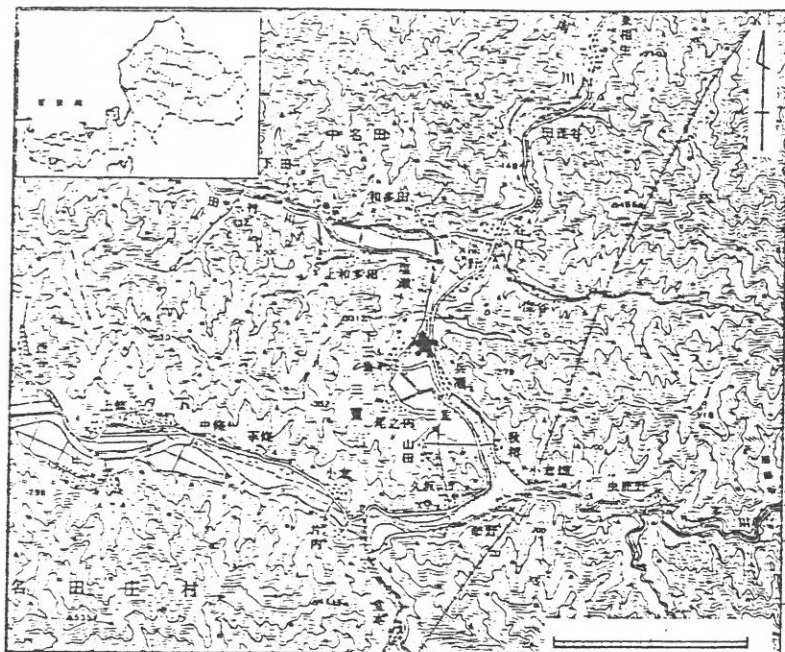
中期末～後期初 (北白川Ⅰ式～中津式)

## 石器

有舌尖頭器 2点 (早期住居跡埋土上部より出土)

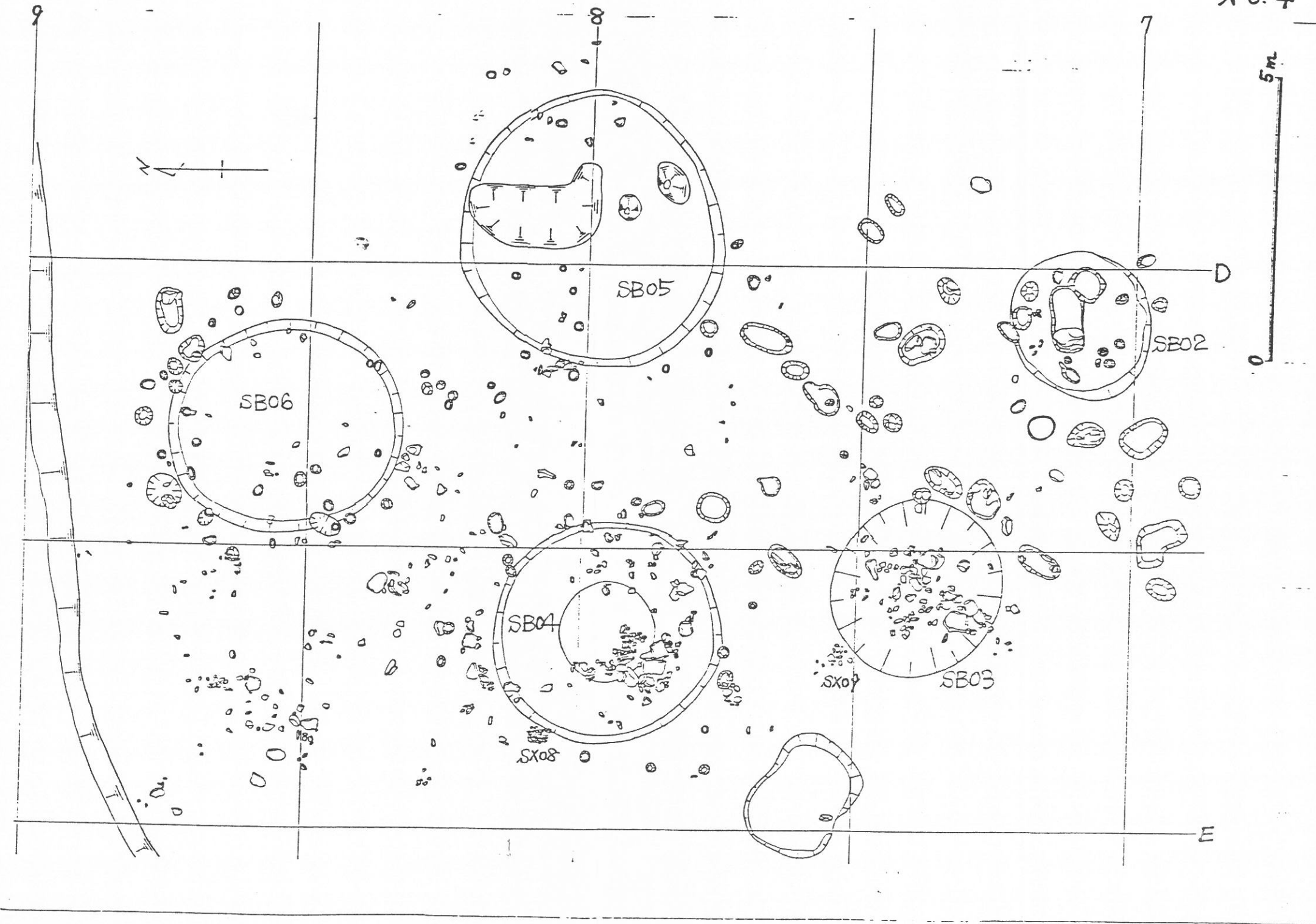
石鏃 30点, 石匙 2点, 石錐 4点, 凹み石 50点,  
切目石錐 125点, 打欠石錐 41点, 敲石 22点, 磨石 23点,  
磨製石斧 4点, 打製石斧 4点,

(以上は包含層出土の数量)

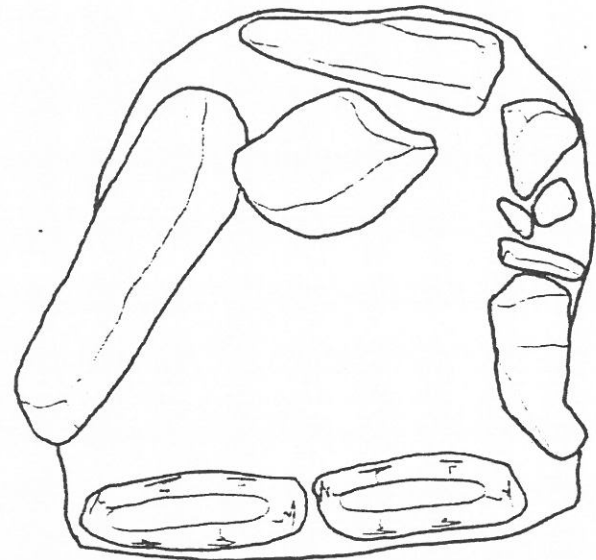




NO. 4

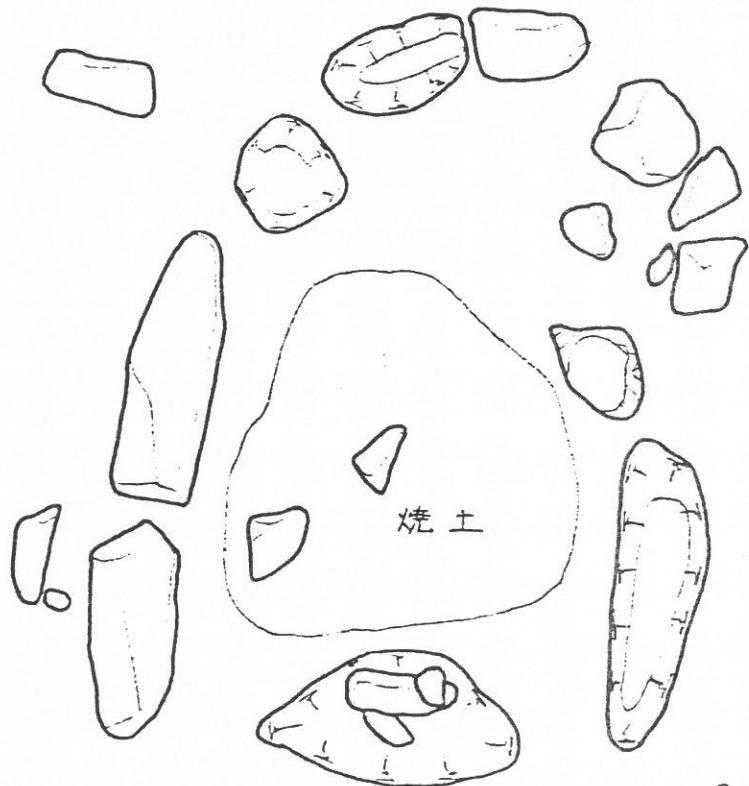


中期末～後期初頭の遺構



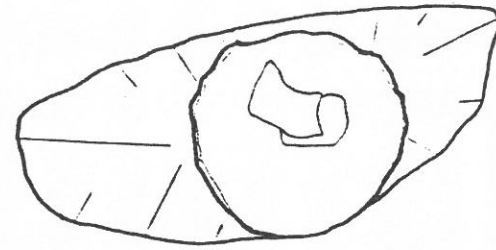
[SF02]

1. 石围炉

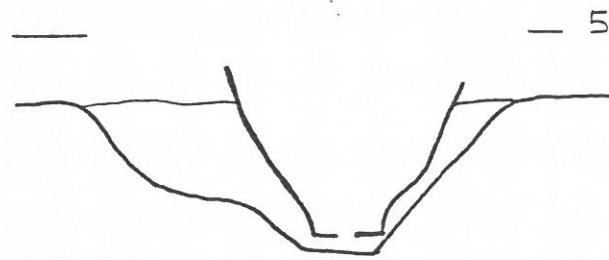


[SF03]

烧土

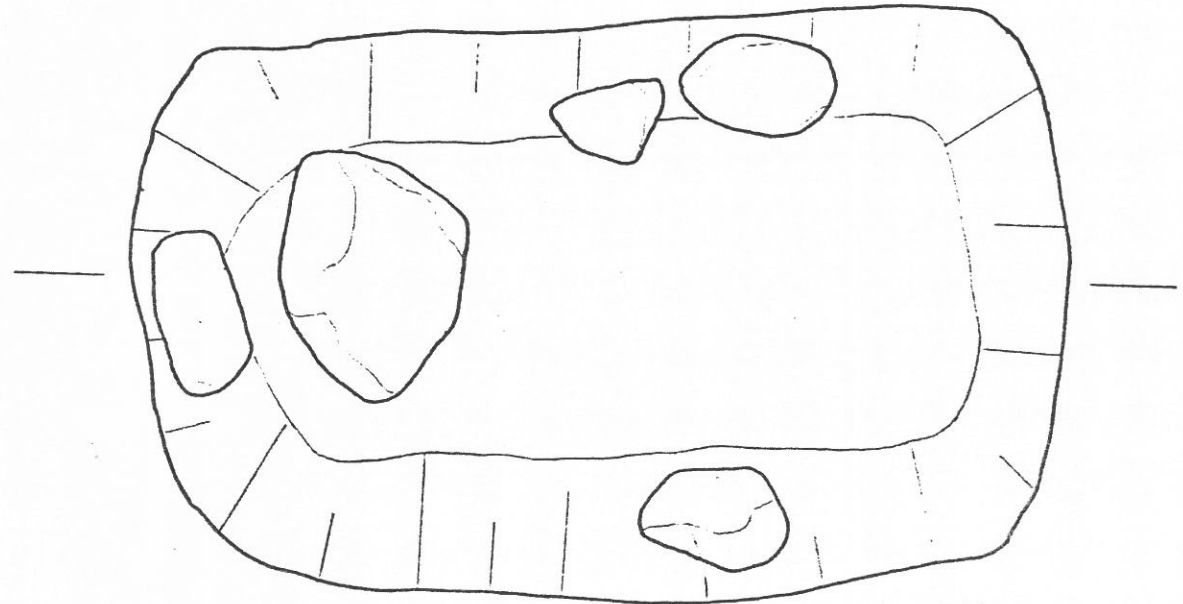


[SX04]

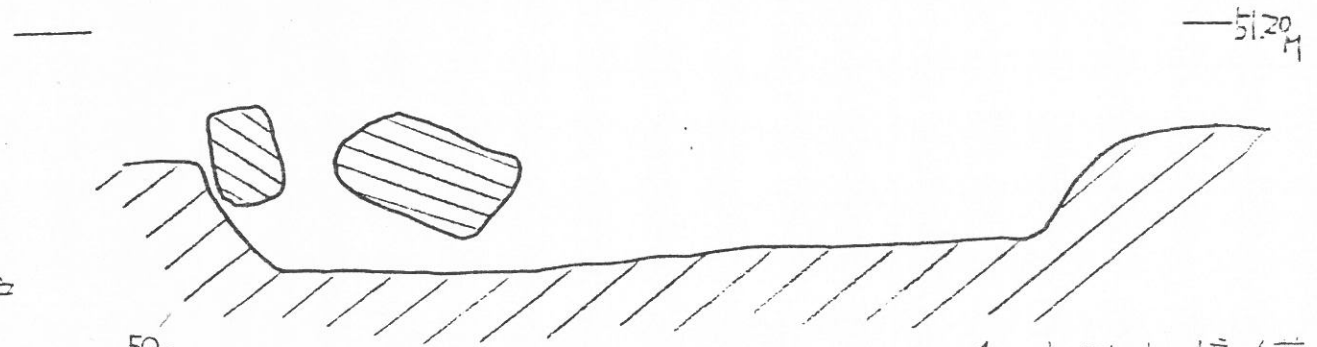


— 51.0M

3. 埋瓮

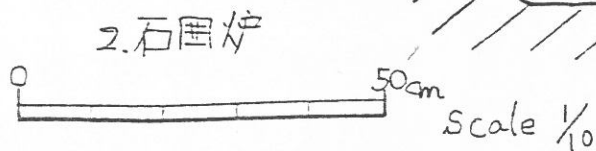


[SK24]



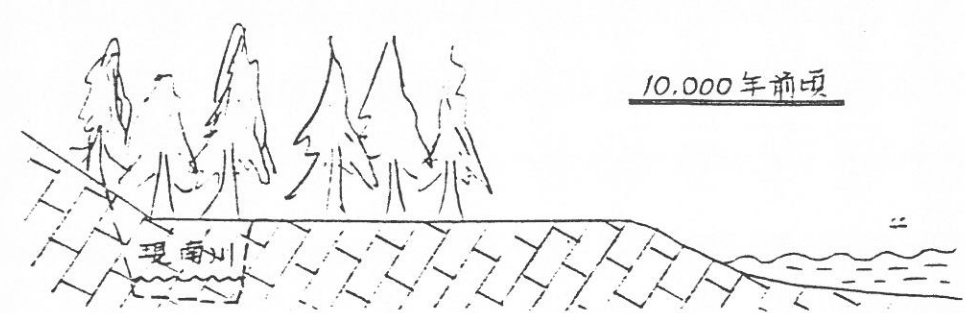
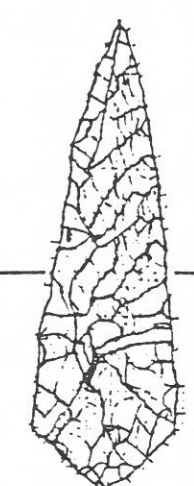

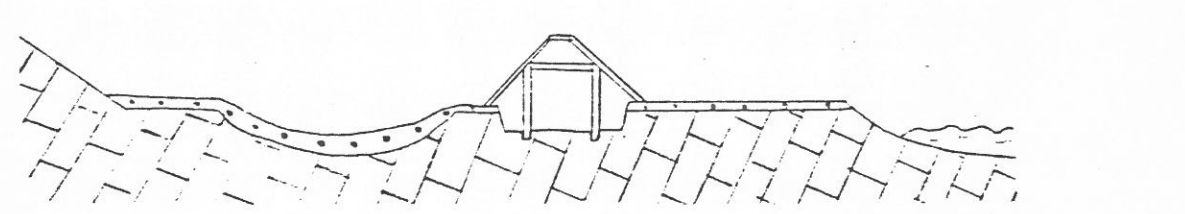
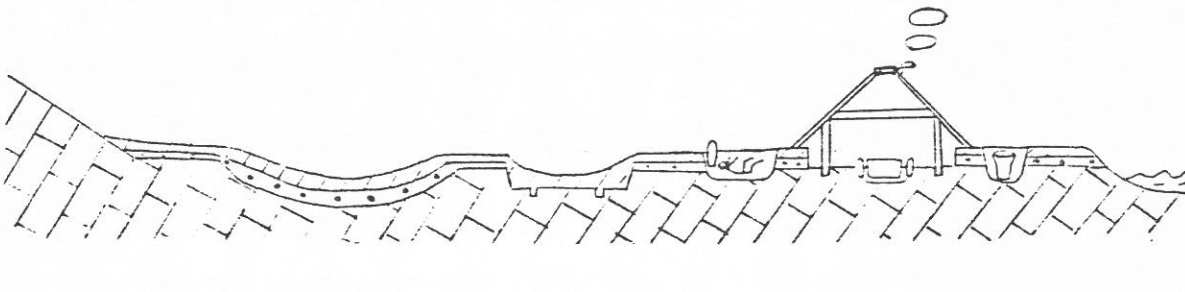
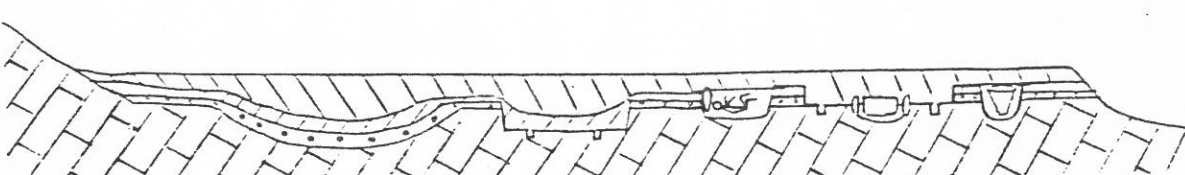
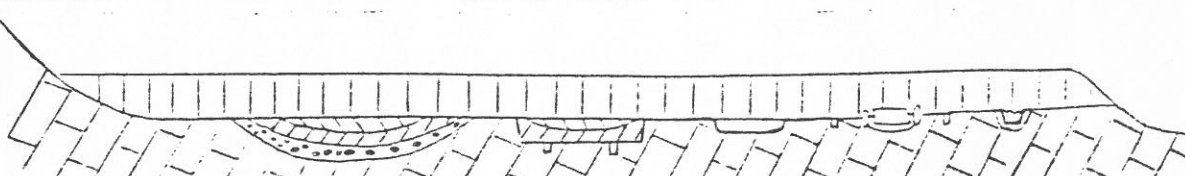
— 51.20M

4. 方形土坛(墓坛)



2. 石围炉

# 過去 9,000年の岩の鼻遺跡の形成史

縄文時代 縄文時代 縄文時代	 <p>10,000年前頃</p>	
I 期 早期 (9,000年前頃)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・神宮寺式 (押型土器と呼ばれる早期前半の土器の中でも最も古い土器の一つ)</li> <li>・円形 聖穴住居跡 5基 (径4m前後4基, 径7m前後1基) 柱なし, 聖穴の壁が斜めに立ち上がる (後の時期は垂直)</li> <li>※昨年度に1基が確認されている。</li> <li>・焼石の集石 (径30cm程度, 家の脇に位置) - 調理用</li> </ul> <p>有 尖頭器</p>
II 期 前期 (8,000年前頃)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北白川下層II~III式</li> <li>・円形 聖穴住居跡 径2.4m, 柱穴 (径28cm) あり。</li> <li>昨年度, 北白川下層IIa式に属する 聖穴住居跡 1基を 確認済。</li> <li>※この時期には一般に 屋内炉を つか, この住居跡に 関しては不明 (床中央部に 中期の 方形土坑 (墓坑) が 重複したため)。</li> </ul>
III 期 中期末 ~ 後期初 (7,000年前頃)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北白川C式 ~ 中津式</li> <li>・石囲炉 3基, 焼土 1基 (→ 計4基の住居跡を 検出し 北に 5基)</li> <li>・埋設土器 2基 …… 幼小児用の 墓坑。</li> <li>・隅丸方形土坑 13基 (約100x75cm) …… 成人用の 墓坑。</li> <li>墓域と集落域の 区別はない</li> <li>・その他に 土坑・ピットを 多数 検出。</li> </ul>
全域埋没		
発掘前 BC 1985		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然的・人為的 (開墾・耕作) 影響により 地山列上の 包含層が 攪乱される (耕作土化)</li> </ul>